

## 逆打ちと瀬戸芸とG7会合

明けましておめでとうございます。今年は4年に一度の閏年です。閏年は夏季オリンピックの年。今回はブラジルのリオデジャネイロで開催されます。次が2020年の東京開催です。その成功への弾みを付けるためにも、今年のオリンピックにおいて、日本選手の大活躍が期待されるところです。

閏年と言えば四国八十八ヶ所巡礼の逆打ちの年でもあります。逆打ちをすると弘法大師に出会えるとされ、また、お遍路道を逆に巡って結願する苦労があることから、さらに深い徳を授かれるとも言われています。逆打ちは、88番札所大窪寺からのさぬき市内の3か寺を経て高松市内の札所を回ります。春の行楽シーズンに、高松市内の札所を訪れるお遍路さんが多くなり、にぎわいが期待されます。

そして今年は、3年に一度の瀬戸内国際芸術祭が開催されます。3月20日に開幕し、本市の女木島、男木島、大島を含め、備讃瀬戸の12の島々と高松港周辺を舞台として春、夏、秋の3会期で、延べ108日間開催されます。「海の復権」をテーマとして、過疎化や高齢化が著しい離島の活性化を図るというコンセプトは、初回から一貫しています。今回は、「アジア」、「食」、「地域文化（盆栽、獅子舞など）」といった新しい視点からのコンテンツも加わる予定です。

さらに4月29日・30日の二日間、高松では過去最大規模の国際会議となるG7香川・高松情報通信大臣会合が、サンポート高松において開催されます。伊勢志摩サミットの一環として開催される関係閣僚会議の一つです。この開催に併せて、高松の街も中心市街地において、フリーWi-Fiの整備やデジタルサイネージの設置などを行うこととしており、「情報通信」大臣会合の開催都市としての受入体制を整えることとしています。

オリンピック、瀬戸芸、G7会合が国際的であるのはもちろんのこと、四国遍路でさえも、世界遺産登録を目指した活動や外国人遍路の増加など、国際的な動きが見られます。一昨年の香川県の外国人延べ宿泊者数は、四年前との比較で全国一の伸び率だったそうです。この勢いをそのままに、国内外にこの地域の魅力を大いにアピール出来る、そんな年にしたいと願っています。